



指もんを調べると、どんなことがわかるの

個人を、本当にその人であると判断するのに利用されている

指もんの形には、うずまき形やゆみ形のものなどがあり、それぞれの指もんの、みぞの深さはばばは、大人になると大きくなりますが、それぞれの指の、指もんの形やならび方は、生きている間一生変わりません。

そして、それぞれの指の指もんの形とならび方は、人によってすべてちがうため、指もんを調べれば、個人を、本当にその人であると判断することができるのです。

よく、テレビドラマなどで、はんざいが行われた場所などの、指もんを調べているのは、残された指もと、警察がつかまえた人の、指もんがいつちすれば、それがはん人である証拠になるからです。



指もんの形は遺伝する

指もんの形は、親から子へと遺伝することが多く、親と同じ形の指もんを、多くもった子どもが生まれたりするといわれています。

しかし、遺伝するといっても、子どもはお父さんとお母さんから、それぞれの特徴を遺伝しているわけなので、お父さんやお母さんと、まったく同じ指もんの形や、指もんのならび方をしていないわけではありません。そして、お父さんやお母さんも、それぞれの、お父さんやお母さんから、指もんを遺伝しているわけですから、似ていても、少しずつちがう指もんの形や、指もんのならび方ができていくのです。よく、「まったく同じ指もんはない」といわれるのは、そのためです。(監修・保志 宏)

